

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

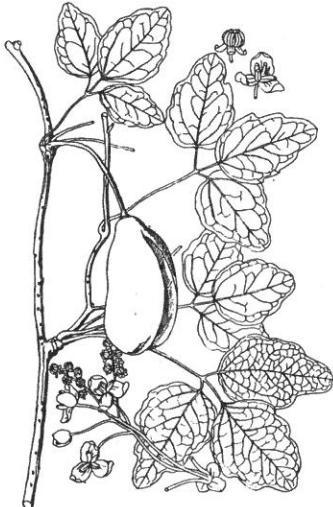
N O . 3 2 6 2 0 1 2 . 8 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “アケビ”（通草）

～紫色の実は秋の野山の味の代表格～



Akebia trifoliata KOIDZ.
ミツバアケビ

アケビは、アケビ科アケビ属の蔓性落葉樹木で、花と果皮の白い白花アケビ、緑色のアオアケビなどの変種のほか、花色が濃い紫色のミツバアケビ（果実はアケビよりも美味とされる）や、これらの雑種とされるゴヨウアケビなどがあります。日本各地や朝鮮半島、中国に分布し、北海道ではミツバアケビが日当たりのよい道南の山地に生育しており、ほかの樹木などに巻きついて高く登っています。花には雄花と雌花があって、小さな雄花は花軸の先の方にあって多数つき、やや大きい雌花は長い柄をもち、花軸の基部に1～3個の花をつけます。雌花は他の株の花粉によって受粉し、実を結びます。果実は長さ7～8cmくらいの長楕円形で、熟すと緑色から紫色に変わり、縦に裂けてきます。この中には、甘味のある果肉に包まれて、光沢のある黒い種子がたくさん入っています。

アケビの名前の由来ですが、果皮が裂けることに由来し、「開け実」の転訛、「赤い実」の転訛など諸説があります。一方、ミツバアケビは名前のとおり、葉が3枚の小葉からなることにより、アケビカズラなどの別名もあり、漢名は木通といいます。

アケビの用途ですが、庭木用としても使われます。造園木ではありませんが、つる先を適当に剪定し、野趣に富む棚仕立てとし、果実を楽しみながら観賞用として用いたり、盆栽として栽培されます。野生のものは、落葉後ツルを集め、煮沸して剥皮し、天日でさらし、椅子や置物籠、菓子盆、玩具などのアケビ細工の原料として用います。

なお、果実は生食するほか、果皮を味噌和えにしたり、水にさらして苦味をとり、砂糖をからめたり、油炒めにして胡麻よごしなどにして食します。

また、幹や根、葉、種子にトリテルペノール酸、ヘデラゲニンからなるサポニンのアケボサイドがあり、生薬の木通は木質化したツルの皮です。薄く輪切りにしたもの丸木通、さらに細切りしたもの押木通といい、消炎利尿剤として用いられ、腎臓病や膀胱炎などによるむくみに効果があるとされます。

栽培法は実生か株分け増殖によります。秋のとりまきがベターですが、春まきにしたいときは、種子を土中埋蔵しておきます。

老僧に通草を貰ふ暇いとまごひ乞 正岡 子規
熊除の鉈のかがやく通草山 福田甲子雄



公園だより

バラ園



雪融けが遅れ、今年の春は園芸作業も滞りがちでしたが、5月からは急速に天候が回復して忙しい日が続きました。バラ園は、今月も来年度のバラサミットに向けて、リニューアルの工事が忙しく進められております。このため、今年の彩花まつりは、バラの一番花も例年のように観賞して頂くことができず、残念な状況でした。来月の秋バラの季節には、リニューアル工事も一段落し、半分くらいのバラ花壇を楽しんで頂けるのではないかと期待しております。バラをお育ての皆さん方には、今月は、病害虫対策に忙しい時期と思われますが、この夏を乗り切って素晴らしい秋バラを咲かせて頂きたいと思います。

◆**今月のバラ園からの一口メモ**は、バラ最大の敵ともいえる病気、黒点病についてです。バラの下葉から黒褐色の斑点があらわれ、時には葉柄や茎にも発生し、葉がだんだん黄色くなり、やがて落葉します。

原因と菌の性質ですが、病菌の胞子が風などで飛び、新しい葉に侵入し、落葉して地面に胞子が残ると、雨滴などで葉裏に菌がはね返り広がっていきます。予防法としては、土のはね返りで病菌が広がるのを防ぐため、マルチをしたり、風通しをよくし、カリ分やリンサン分を与えて木を丈夫にしましょう。

駆除の方法としては、黒点病が出た葉は取り除き、焼却します。また、1~2日おき位に、ダコニールやサプロール、ベンレート、などの殺菌剤を散布します。

室内公園色彩館では、館のフォーカスツリーでもあるタイサンボクの花が終わり、カクテルなどのツルバラや、四季咲き性のモダンローズが咲いています。また、アジサイの花も青、ピンク、白など、とりどりの花を咲かせております。

南国温室では、先月と同じようにレモンやパパイアの実が色づいています。また、今年はバナナの花がまだ開花しませんが、今月あたりはそろそろかと期待しています。ブーゲンビリアやハイビスカス、アンスリュームも咲いていて、南国情緒を楽しんで頂けると思います。

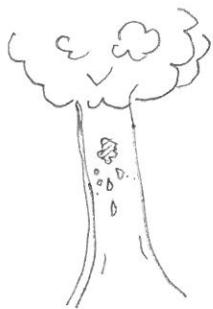
相談日記

問 庭木の幹のヤニについて伺います。今のところ樹木自体は特に問題なく、元気なようすなのですが、幹の表面にヤニのようなものがついています。これは何か病気にかかってしまったのでしょうか？原因や対策、このようにならないようにする予防法などがあれば知りたいのですが。

答 まず、ヤニが出ている周囲をよく調べ、糞や臭いの有無を確認しましょう。ヤニが出ている近くに、小さな穴や虫の糞、木くずのようなものを見つけたら、害虫による被害です。何も見つからなかったら、ヤニの臭いをかいでみます。異臭がする場合は、樹脂病が疑われます。樹木は傷がついたり虫や病気におかされると、ヤニを出して自分の身を守ろうとします。幹内を食い荒らす害虫には、カミキリムシやコスカシバの幼虫がいます。樹脂病は、かんきつ類がおかされやすい病気で、糸状菌の一種によって罹病し、発生すると、あちこちから異臭のする黄褐色の樹脂を出します。

治療と予防のポイント コスカシバなど害虫の駆除と治療は、ヤニを見つけたらナイフなどでヤニを削り、中の虫を捕殺するなどした後、削った場所にトップジンMペーストを塗布します。また、樹脂病の被害にあった枝や幹は取り除き、切り口や傷口をトップジンMペーストなどで湿布し、癒合を促進させます。

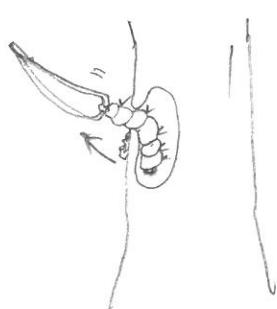
予防法は、害虫も樹脂病も、若い樹木よりも折れたり、傷がついたりして弱った樹木に発生する傾向があります。このため、普段から樹木の健康状態に気を配り、健全に保つことが一番の予防法といえます。



虫の糞や木くずがつ
いていれば、スカシ
バなど虫が原因



ヤニを見つけたら、
ナイフなどでヤニを
削りとる



中の虫を捕殺・殺
虫し、削った場所
にトップジンMペ
ーストを塗る

スカシバなど害虫の駆除・防除

螺旋状の花をつける造形の妙～ネジバナ 花言葉 もだえる心



ラン科スピランテス属の多年草で、日本全国の原野や芝地、田の畦草の中などに生育していますが、最近は見かけることが少なくなってきたような気がします。上部にねじれた穂状の多数の桃紅色の小花を綴り、そのようすは大変可憐です。まれに白や緑色の花もあり、鉢花や芝生で栽培もされ、山草の愛好家などが観賞用として増殖したりしています。植物名

の由来は、一見して分かるとおり、花穂がねじれていることを端的に表現したもので、別名のモジズリは、昔、陸奥地方で行われていた型染めの捩摺もじずり（忍しのぶ摺）の模様に、そのねじれたようすが似ているところから名づけられたものです。また、属名のスピランテスはギリシャ語speira(螺旋)とanthos(花)に由来し、花が螺旋状につくことにちなみます。有機質に富んだ、適潤な土質の日当たりのよい環境を好みますが、栽培はわりやすいです。近年人気の希少種、ヤクシマネジバナや観賞用として最も優れている、斑入り葉の系統などを育てるのも樂しみです。

8～9月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介



♣芝生管理のポイント

日時 8月19日（日） 13：00～15：00

講師 芝生コンサルタント 林 満 さん 定員 40人 参加料 無料

♣さし木でふやそう

日時 8月25日（土） 13：00～15：00

講師 林業試験場 研究員 さん 定員 30人 参加料 無料

♣バラの押し花作り I

日時 9月 2日（日） 13：00～15：00

講師 押し花アーティスト 宇田川静子 さん 定員 30人 材料費代 I・II

合わせて 2600円

♣バラの押し花作り II

日時 9月 9日（日） 13：00～15：00

講師 押し花アーティスト 宇田川静子 さん 定員 30人

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで